



田原市地域コミュニティ連合会

会報第16号
2019. 1. 15

- 「田原市地域コミュニティ連合会」は、地域コミュニティによる“自主的なまちづくり”を目指すため、それまでの総代会に代わって、平成23年度に発足しました。
- 連合会では、地域コミュニティ活性化のための調査・研究、定例理事会などでの意見交換、交流スポーツ大会、市への要望活動などを行っています。

◆平成30年度 連合会活動方針

目標とする地域社会	“誰もが暮らしやすい社会”
活動目標	みんなが参加し、互いに尊重・助け合う地域づくりの場
推進項目	①コミュニティ活動の目的・目標をみんなで共有しましょう。
	②一人ひとりが出来ることから取り組む全員参加のまちづくりを進めましょう。
	③情報交換や交流イベント等により、連帯意識を高め、人づくりを進めましょう。

■連合会研修会の開催

平成30年10月11日（木）／田原市役所 講堂

地域づくりの取り組みを行う上での実践的なノウハウ・スキルを学ぶ機会として研修会を開催しました。今回は兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の阪本真由美准教授に講師を依頼し、大規模災害時における自主防災組織の役割についてを始め、西日本豪雨災害や阪神淡路大震災、東日本大震災など最近発生した災害の事例紹介、災害に強い地域づくりのポイントについてお話いただきました。

各コミュニティ協議会から参加希望者を募り、当日は理事を始め自治会長や地域のまちづくりに関わる方など合計104名の方にご参加いただきました。

地域コミュニティの核でもある自主防災組織をより向上させていくために参加されたみなさんは、自分たちの地域のまちづくりに何か活かせることはないかと熱心に耳を傾けていました。



講話内容

- 災害時の自主防災組織の役割
- 避難行動について
- 最近発生した災害の事例紹介
- 災害に強い地域づくりのポイント
- 避難所運営について



■交流スポーツ大会の開催

平成30年6月9日（土）／渥美運動公園屋内競技場



の交流スポーツ大会は、地域のスポーツ振興と、コミュニティ協議会内外の交流・連帯意識の向上を目指して開催しているもので、今回で**8回目**となります。合併前は各町で町民体育祭などの行事が行われ、自分が住む地域以外の方たちと交流する場があったのですが、こうした機会がなくなったという声があり、平成23年度から連合会事業として実施しているものです。

大会当日は市内20のコミュニティ協議会から、**合計480名**の参加がありました。競技は「玉入れ」と「フライングディスクゴルフ」の2種目を行いました。両競技とも1チーム10名（内2名以上女性）で構成し、4つのブロックに分かれて予選リーグを行い、各ブロック1位のコミュニティ協議会が、決勝トーナメントで順位を争いました。競技の結果、「玉入れ」は童浦校区コミュニティ協議会が、「フライングディスクゴルフ」は伊良湖地区コミュニティ協議会がそれぞれ優勝しました。

選手編成には各地域の個性があふれ、交流が目的の大会とはいえ、いざ試合が始まるとどの試合も白熱し、会場は笑顔と歓声に包まれていました。異なる地域の名前や顔も知らない方同士が交流できる良い機会となりました。

交流スポーツ大会 結果

玉入れ

優勝	童浦校区コミュニティ協議会
準優勝	田原東部コミュニティ協議会
3位	泉校区コミュニティ協議会 清田校区コミュニティ協議会

フライングディスクゴルフ

優勝	伊良湖地区コミュニティ協議会
準優勝	神戸コミュニティ協議会
3位	田原中部校区コミュニティ協議会 和地地区コミュニティ協議会

連合会長特別賞

がんばりま賞	田原南部コミュニティ協議会
--------	---------------



■先進活動事例の視察研修

田原市地域コミュニティ連合会では、他県の地域コミュニティ等の活動先進事例を研究し、地域の問題解決の参考とするため視察研修を行っています。

今回「福井県坂井市 春江西部地区まちづくり協議会」「滋賀県近江八幡市 八幡学区まちづくり協議会」の取り組み事例を研修しましたので、自分たちの地域活動に活かしたいと思います。

平成30年7月9日（月）／（福井県坂井市）春江西部地区まちづくり協議会

◆視察先対応◆

- ・春江西部地区まちづくり協議会長、
春江西コミュニティセンター長、
坂井市総合政策部長、まちづくり推進課長ほか

◆地域の概況◆

- ・1,957世帯、人口5,933人。
- ・平成27年4月、公民館からコミュニティセンターへ移行し、地域づくりの拠点施設・社会教育施設（公民館）としての役割を担っている。

◆活動の状況◆

- ・コミュニティセンター内にスペースを新設し、毎月第4木曜日にコミュニティカフェを運営。
- ・各地区（三国・丸岡・春江・坂井）で統一テーマを決め、各センターが連携・協力して短期講座をリレーし、コミセン講座を実施。

- ①共催講座（共通ニーズや地域課題に合わせた講座）
- ②リレー講座（地区別に統一テーマでリレー）



参加理事の意見（抜粋）

- 協議会が独立した運営と専門的な人材が多くいるように感じた。
- コミュニティセンターに社会教育指導員を配置し、社会教育・生涯学習事業に対する指導助言のもと、活動を展開しており感心した。
- コミュニティセンターにすると、協議会や各種団体、行政との連絡調整が難しくなるように感じた。

平成30年7月10日（火）／（滋賀県近江八幡市）八幡学区まちづくり協議会



参加理事の意見（抜粋）

- 旧市街地・新市街地・そして農村部と、大きく異なる地域性を抱えた組織運営は大変だと感じた。
- 子ども食堂は、「地域の子どもは地域で育てる」をモットーに、子どもとのコミュニケーションの場を上手く設けていて感心した。

◆視察先対応◆

- ・八幡学区まちづくり協議会会長、
八幡コミュニティセンター長ほか

◆地域の概況◆

- ・6,518世帯、人口14,869人。
- ・平成22年3月、公民館からコミュニティセンターに移行。それまで市職員が勤めていた公民館主事が引き上げとなり、センターの施設管理業務は市が直接行い、学区内事業運営はまちづくり協議会が行う。

◆活動の状況◆

- ・8つの部会に分かれて活動を実施。
- ・各部会に、20自治会の理事が所属。
- ・みんなで一緒に楽しくご飯を食べる場、子どもと地域の大人がつながるきっかけの場として、はちまん子ども食堂を平成28年から実施。

■地域活動支援要望書の提出

平成30年10月2日（火）／田原市役所 応接室

田原市市民協働まちづくり条例で、まちづくりの基礎的団体として位置付けられている地域コミュニティ団体への支援を求める**地域活動支援要望書**を、山下政良市長へ提出しました。

内容は、これまで実施されている活動支援、施設整備支援の内容を引き継ぐとともに、更なる支援内容の充実を検討していただくものとしています。

当日は、市長のほか、副市長、総務部長が同席のもと、財源、組織及び事業推進等について意見交換を行いました。



意見交換の内容（一部抜粋）

- 自治会や自主防災会への支援について、どうしても地域が自主的な活動を推進していけるのかを今後も考えていきたい。
- 以前の青年会のように、常に若い世代が集まることのできる場所づくりも考えていきたい。



■平成30年度 連合会の主な事業運営状況

4月	定期総会・地区行政連絡会
6月	交流スポーツ大会
6月	連合会会報（15号）発行
7月	先進地視察研修
10月	連合会研修会
10月	地域活動支援要望書提出
1月	連合会会報（16号）発行

- その他・定例理事会開催（毎月）
 - ・各種審議会への委員参加（随時）
 - ・地域コミュニティ活性化研究会の開催

自治会加入・地域活動への参加のお願い

自治会では、親睦交流活動、防災活動、交通安全・防犯活動、清掃活動など皆さんが住みやすくなるよういろいろな活動をしています。そこに住む一人ひとりの力が必要です。で、自治会加入・活動参加をお願いします。



連合会ホームページをご覧ください

田原市地域コミュニティ連合会では、活動内容や各協議会のイベントなどの情報をホームページでお知らせしています。ぜひご覧ください。

田原市地域コミュニティ連合会

検索

編集：田原市地域コミュニティ連合会事務局
（田原市役所 総務課）

電話 0531-23-3504

メール tahara-komiren@city.tahara.aichi.jp

ホームページ <http://tahara-komiren.com/>